

岩手県における海岸漂着物のモニタリング実施状況について

1 概要

岩手県海岸漂着物対策推進地域計画において、県は、海岸漂着物等の組成及び存在量並びにこれらの経年変化を把握するため、定期的な調査を行うこととしている。

令和2年度は、海岸漂着物の量などの概況を把握することを目的とする「海岸漂着物状況調査（下記2）」と、漂着ごみの組成を分析することを目的とする「漂着ごみ組成調査（下記3）」を実施した。

2 海岸漂着物状況調査について

（1）調査趣旨

県内海岸管理者への照会により、県内海岸における海岸漂着物の概況を把握する。

（2）調査方法

県内の県・市町村が所管する海岸を対象に、令和元年度（平成31年4月から令和2年3月末まで）に回収・処理した海岸漂着物等の重量及び主な内容等について、海岸管理者に照会しとりまとめた。

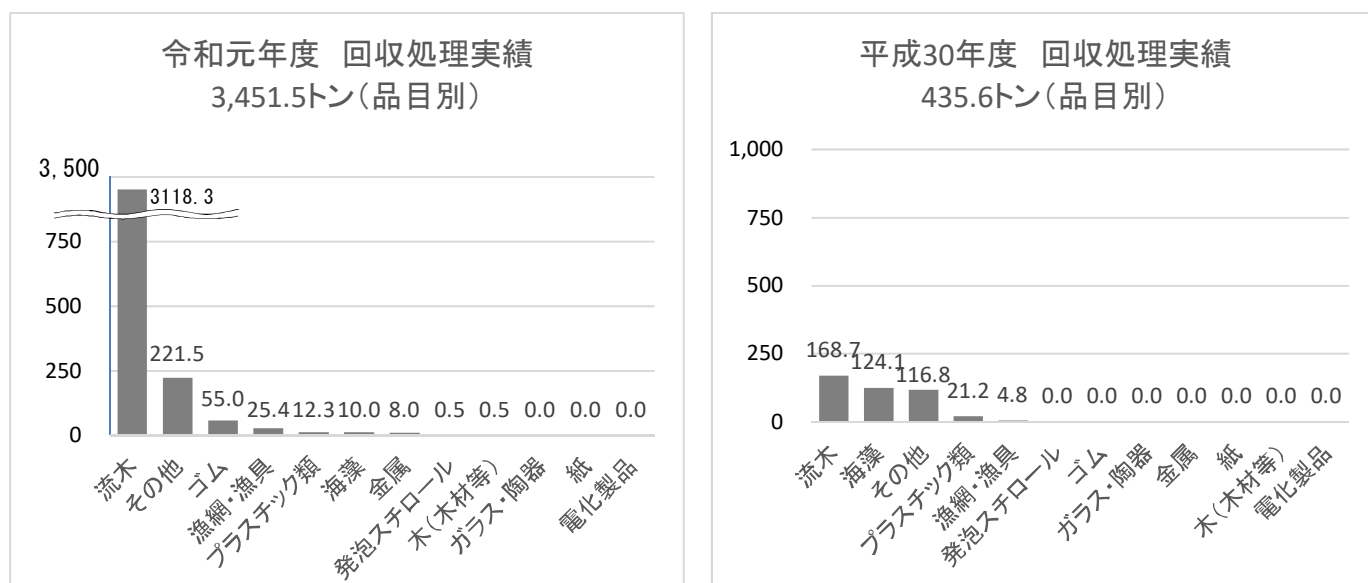
（3）調査結果

海岸管理者が回収・処理した海岸漂着物の内訳は下記グラフのとおり。

前年度（H30実績）の調査と比べ、流木の量が大きく増加している。その漂着原因については、台風第19号の影響が大きいと推測される（回答のあった回収処理量3451.5トンのうち、漂着原因を台風等と回答したものは約3401.8トンだった）。

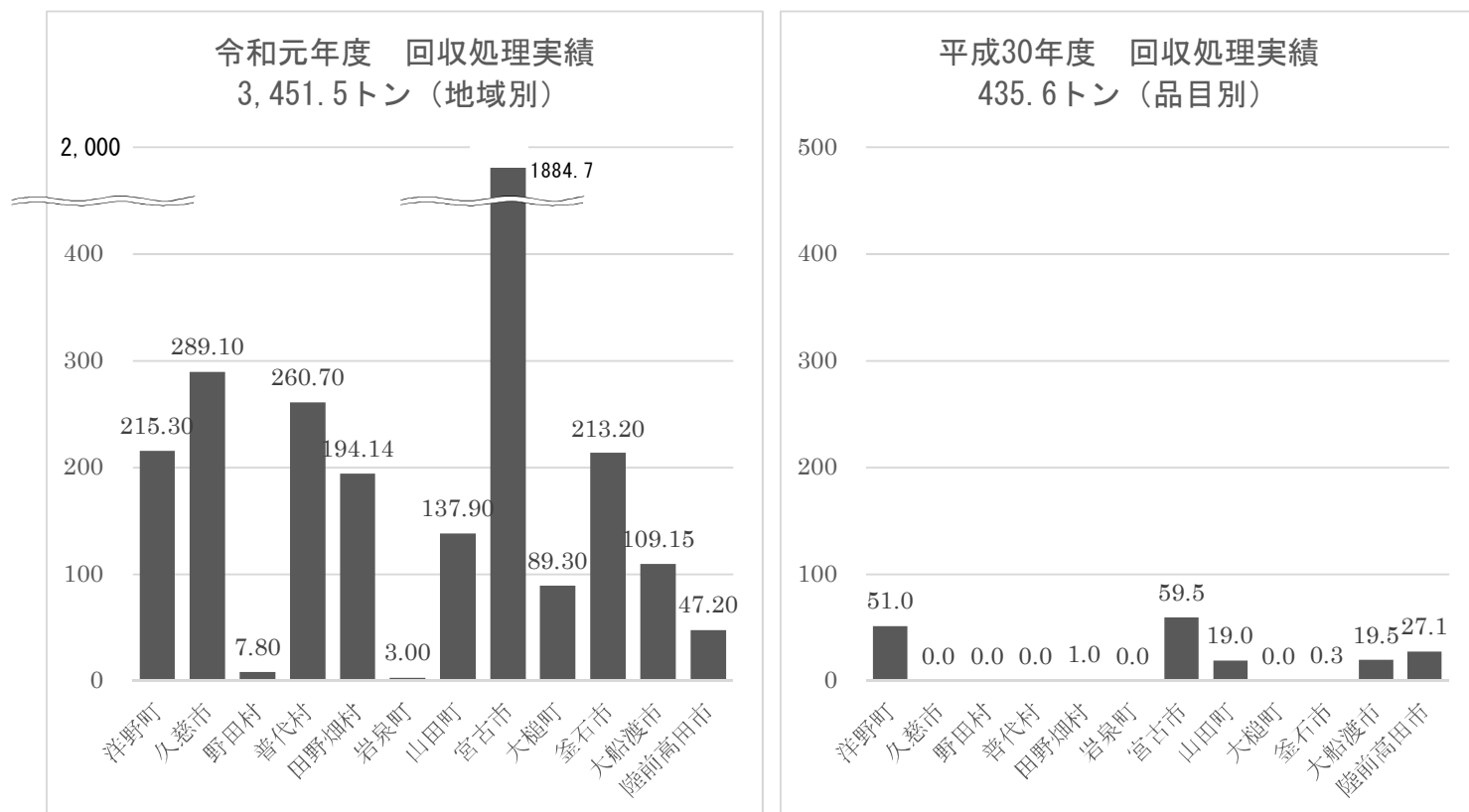
分類別に見ると、流木や海藻等の自然物のほか、人工物として、ゴム、漁網・漁具、プラスチックなどが見られる。ただし、2か年分のデータからは特徴的な傾向は見いだせない状況である。

地域別に見ると、宮古市内で回収・処理された漂着物が全体の約5割を占める。理由としては、台風等によって生じた漁業等に支障のある漂着物を、多く除去したためと考えられる。



【図1：県内海岸における海岸漂着物の回収・処理状況（分類別）】

※ 「その他」の分類には、分類されずに処分されたごみや、葎・カヤ・落ち葉等が含まれる。



【図2：県外海岸における海岸漂着物の回収・処理状況（地域別）】

3 漂着ごみ組成調査の実施状況について

(1) 調査趣旨

海岸へのごみの漂着状況について定点調査を行い、漂着ごみの組成を分析する。

(2) 調査方法

県内海岸のうち5箇所を観測地点として選定し、観測地点の範囲内に漂着していたごみの個数や重量を計測した。

漂着ごみの分類や観測地点の選定、調査時期その他の調査手法については、環境省が作成した「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に基づいて行った。

(3) 調査期間

令和2年6～9月

(4) 調査結果

集計結果は次ページ以下のとおり。

重量ベースでは、自然物（流木や灌木、海藻等）が多く確認された（全体の約9割）。

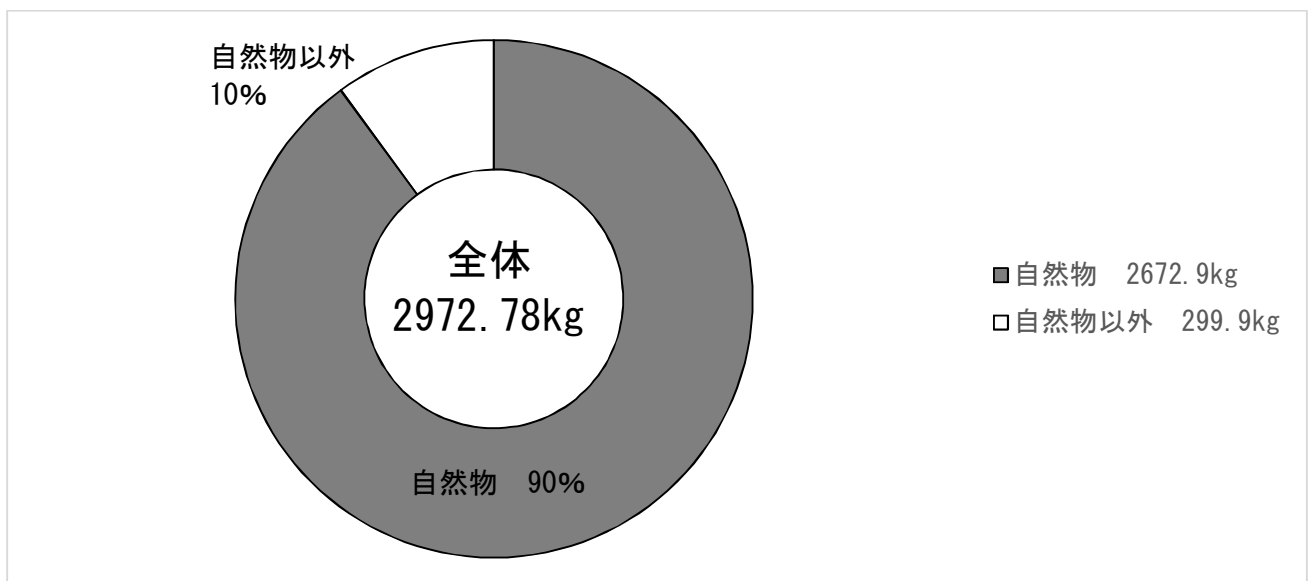
人工物としては、プラスチックが多く、発泡スチロール、ゴム、金属類が確認されている。

その内訳については、個数ベースでみると、ロープ・ひも（漁具）、プラスチック袋、ボトルのキャップ、ふた、食品容器等が多い。

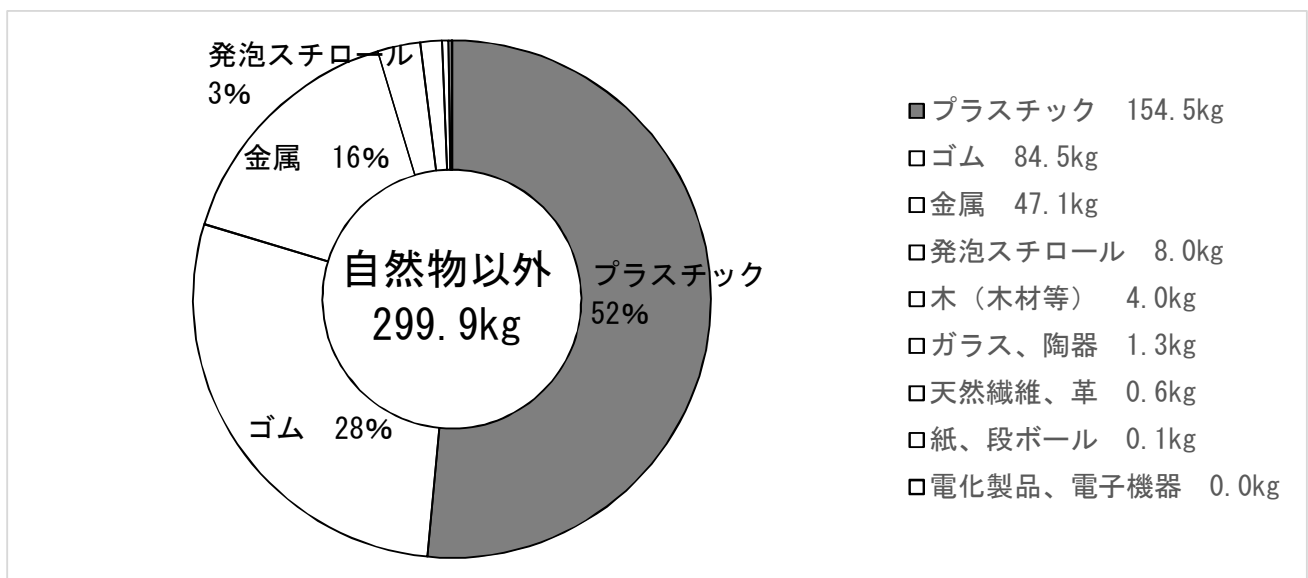
重量ベースでみると、タイヤ、金属片、ロープ・ひも（漁具）、ブイその他漁具が多い。

【表 1：令和 2 年度漂着ごみモニタリング実施状況】

市町村名	海岸名	実施日	重量(kg)	主な内容
普代村	宇留部海岸	R2.9.10	5.29	プラ、発泡スチロール、アルミ缶・スチール缶、流木
田野畑村	明戸海岸	R2.9.24	1,385.49	プラ、漁具、流木
宮古市	松月海岸	R2.6.18	293.00	プラ、発泡スチロール、タイヤ、缶、流木
釜石市	水海海岸	R2.6.11	1,222.67	プラ、発泡スチロール、金属、流木（枝）
陸前高田市	高田海岸	R2.7.6	66.33	プラ、アルミ缶、流木、海藻
合計			2,972.78	



【図 3：漂着ごみの構成（全体）】



【図 4：漂着ごみの構成（上記のうち自然物以外の内訳）】

【表 2：漂着ごみの構成（自然物以外のうち、重量順の上位 10 分類）】

大分類	オプション項目	重量(kg)	割合
ゴム	タイヤ	50.00	16.7%
金属	金属片	41.50	13.8%
プラスチック	ロープ、ひも（漁具）	32.20	10.7%
プラスチック	ブイ（漁具）	28.50	9.5%
ゴム	ゴムの破片	23.95	8.0%
プラスチック	その他の漁具	20.65	6.9%
プラスチック	漁網（漁具）	20.00	6.7%
プラスチック	硬質プラスチック破片	19.20	6.4%
ゴム	その他	10.00	3.3%
発泡スチロール	発泡スチロールの破片	7.45	2.5%

【表 3：漂着ごみの構成（自然物以外のうち、個数順の上位 10 分類）】

大分類	オプション項目	個数	割合
プラスチック	ロープ、ひも（漁具）	1,285	36.2%
プラスチック	その他プラスチック袋	686	19.3%
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	444	12.5%
プラスチック	食品容器	382	10.8%
プラスチック	その他のプラボトル<1L	260	7.3%
プラスチック	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	121	3.4%
プラスチック	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	102	2.9%
プラスチック	飲料用（ペットボトル）<1L	50	1.4%
木（木材等）	木材(物流用パレット、木炭等含む)	34	1.0%
プラスチック	その他の漁具	26	0.7%

※ 破片類（金属、ゴム、プラスチック、発泡スチロール、ガラス、陶器等）は個数を測定していない。

【その他確認された漂着ごみ】

たばこ吸殻（フィルター）、ストロー、ライター、ガラス・陶器（食品以外容器）、発泡スチロール製フロート・ブイ、アルミの飲料缶、スチール製飲料用缶、プラ製カトラリー（マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等）、レジ袋、花火、その他ロープ・ひも、靴（サンダル、靴底含む）、玩具